

# 【レース用バイクについて】

大会主催者では『選手の安全性』及び『競技の公平性』を確保し『思い出に残る楽しい大会』にするため、レース中において特にバイク事故の危険が伴うこと、また、本体フレーム及び使用部品の性能によってタイム差が出やすいとされるレース用バイクについて、次のとおり基準及び制限を設けましたので、ご理解のうえ点検・整備を行ってくださるようお願いいたします。

なお、主催者が基準・制限に適合していないため不合格と判断し修正を求めた場合において、指定した時間までに適合するよう整備されなかったバイクのレース使用は認めませんのでご注意願います。

## 1. レースに使用できるバイクは「マウンテンバイク」に限ります。

今回のレースに使用できるバイクは、~~2.6インチ以下の~~「マウンテンバイク」に限ります。

(街乗り用マウンテンバイクは使用可能です。)(中学生はロードレーサーの使用を認めず。)

一般的な「マウンテンバイク」の形状を逸脱していると主催者が判断するバイクの使用は認めません。

(使用不可の例：ロードレーサー、BMXバイク、ママチャリなど)

## 2. 変速装置（ディレーラー）について

必ず変速装置（ディレーラー）付きで、バイクコースに対応してスムーズに変速できるよう整備してください。

## 3. タイヤの基準・制限について

タイヤはスリックタイヤを使用することを推奨します。(ただし、市販のマウンテンバイクに装着されているブロックタイヤ及びセミスリックタイヤであれば十分レースができます。)

バイクコースはすべて舗装路ですので、舗装路に対してグリップ力の高いタイヤを使用してください。

使用タイヤの基準・制限は、主に次のとおりですので厳守してください。

~~1. 横幅は規格 1 3/8 インチもしくは 3.5 C 以上であること。(約 3-5 mm)~~

~~2. 直径は 2.6 インチ以内であること。(大人用マウンテンバイクのサイズです。)~~

1. 横幅については次の通りとする。

20インチ以下のバイクは、**1. 375インチ以上のタイヤ**

22、24インチのバイクは、**1. 5インチ以上のタイヤ**

26インチ以上のバイクは、**1. 75インチ以上のタイヤ**

2. タイヤ接地面及びサイドには走行中にパンクの恐れがあるほどのキズ・異物・ひび割れ等が無いこと。

3. 中学生の使用するロードレーサーは、この限りではありませんが、各自きちんと整備してください。

## 4. 付属品について

レースに不要な付属品及び次に示す物品は取りはずしてください。

これは、付属品等にレースウエアや身体の一部が引っかかって転倒するのを防止したり、他の選手と接触して転倒した際に付属品による怪我を未然に防ぐためです。

【取り外す付属品等】

■カゴ、■荷台、■スタンド、■ハンドルエンドバー、■DHパー、■バックミラー ■金属製の泥よけ

※△リフレクター、△ベル、△ライト、△軟質プラスチックの泥よけ、の取り外しは任意ですが、形状が危険と判断された場合は、取り外しの指示をいたします。)

【取り付けステー、突起物の保護】

カゴをはずした際のバイク本体側ステーの取り外しが困難な場合は、ステーにスポンジ又は段ボール紙等を当てガムテープ等でしっかり巻いてください。

## 5. ヘルメットについて

使用できるヘルメットは硬質の「自転車専用ヘルメット」に限ります。

大切な頭部を保護する道具ですから、破損・ひび割れ・ストラップ切れ・留め具の不良・サイズが合っていない等の不具合があるヘルメットの使用は認めません。

(使用できない例：スノーボード用、オートバイ用、ローラーブレード用、工事用安全ヘルメットなど)

## 6. バイク整備について

事前に自宅近くのサイクルショップでバイク整備をお願いした場合、サイクルショップによっては1000円～2000円の整備料金を支払わなければならない場合がありますが、トライアスロン競技においてバイク整備は、お子さんの大切な身体や生命を事故から守る第一段階の重要な事柄ですので、整備料金は競技参加のため当然の必要経費であるご理解のうえ、しっかりと整備して下さいますようお願いいたします。

なお、前日・当日には、主催者が準備したプロのバイクメカニックが常駐しますが、あくまでも主催者が管理するレンタルバイクの整備と、故障やパンク修理等の緊急対応を行うためのものです。未整備車に対する点検整備は一切行いませんのでご注意願います。

また、バイクメカニックが故障修理やパンク修理を行った場合は、点検整備費及び修理部品実費を請求させていただきます。